



## 延岡高校（普通科・MS科3年生・225名）

## 「SSH 成果発表会」

令和5年7月18日(火) 9:00~12:00

延岡高校の3年生が、探究学習の成果をポスターセッションという形で発表しました。分野は、「物理」「化学」「生物」「数学」「人文・社会」で、『内部構造による耐久の変化』『泡の量と汚れの落ち方の関係』『繁殖したカビを死滅させるには』『飢餓を防ぐ～食料自給率から探る～』『宮崎県北の方言はなぜへんかしたのか』など、それぞれの班（3名～5名）が、個性的なテーマで探究活動を行い、今回の成果発表会に臨んでいました。

発表会は、各教室（8会場）を使って2部制で行われ、それまで指導していただいたメンターの方々や生徒が熱心に説明を聞いていました。説明も質疑応答も大変分かりやすく、根気強く探究に取り組んだ成果がよく表れていました。班によっては、発表の言葉もポスターの文字もすべて英語で行うなど、国際社会に対応できる人材の育成につながる活動が行われていると感じました。



【発表会の様子】

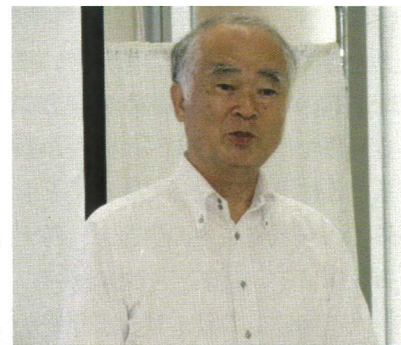
## 南方小学校（全職員・35名）

### 職員研修「育むということ ～子供たちの未来は可能性に満ちている～」

令和5年8月2日(水) 10:00~11:30

南方小学校で、夏休みを利用してキャリア教育の研修が行われました。講師は、水永正憲さん（延岡市キャリア教育支援センター長）です。

水永さんは、初めに、最新の若者の意識と行動や産業界が抱えている課題等について説明され、企業がこれまでのやり方や社員の教育を変える時期にきていると話されました。それは、学校や家庭での教育も同じで、子供たちへの接し方を変えることやキャリア教育をしっかりと推進していくことが大切であることなどを分かりやすく説明されました。なぜ学ぶのか、なぜ働くのかなどを学校だけで学ばせることには限界があり、地域や企業と一体となっ



【水永正憲さん】



【熱心に講話を聞く先生方】

てキャリア教育を進めることの必要性を投げ掛けられました。

先生方も、小学校からのキャリア教育の大切さを再認識されたようで、大変意義のある内容でした。

また、延岡市内で「よのなか教室」に取り組まれている小学校の実践事例やキャリア教育支援センターが制作しているビデオメッセージを紹介されるなど、キャリア教育を進めるにあたって具体的なお話も聞くことができました。

## 旭中学校（3年生・82名） よのなか教室「銀行とSDGsについて」

令和5年6月23日（金） 13:35～14:25

旭中学校の3年生が、総合的な学習の時間のテーマ「10年後の世の中と私～SDGsを通して考える～」に関連して富満正哉さん（宮崎銀行祇園町支店長）にお話を聞きました。

初めに、SDGsの概要について、我が国の達成状況や、世界的な視点で見た貧困の格差など、クイズを交えながら話してくださいました。

次に、宮崎銀行がなぜSDGsに取り組んでいるのかや「みやぎんSDGs宣言」など、宮崎銀行の取組を資料を基に詳しく説明してくださいました。地域経済の活性化を図るために、銀行は中心的な役割を担っていること、SDGsを総合的に推進する役割がある事など、生徒にとっては、今後の課題学習を進めるうえで新しい情報としてとらえることができました。また、今回の講話を通して、銀行が、社会や環境に目を向け、SDGsの目標を達成するために様々な実践をしていることを学ぶことができたのは、大きな成果だったと思います。



【富満正哉さん】



【授業の様子】

## よのなか通信にこここレター

延岡市立東海東小学校 押川 和貴

本年度、本校の第6学年では、総合的な学習の時間の中で、キャリア教育に力を入れて取り組んでいます。今年、キャリア教育を中心に学習を進めていきたいと考えた大きな理由としては、「主体的に学ぶ大切さや面白さ」を感じさせたいと考えたからです。子どもたちの様子を見ていると、集中して学習に取り組んだり、話し合い活動に取り組んだりする姿が見られる一方で、「何のために学ぶのか」というところがぼんやりとしたまま、与えられたためあてや課題のもと学習に臨んでいる子も多くいるように感じています。言われたことをやろうという気持ちももちろん大切ですが、それ以上に「自分で決めてやる」「目標をもつ」ということが、学ぶ上で大きな力を発揮するものだと考えています。キャリア教育は、そんな子どもたちにとって目標をもつためのきっかけの一つになるものであり、多様な生き方や職業に触れる機会は、子どもたちの価値観や可能性を広げてくれます。本校では、10月までに計3回の「よのなか教室」を計画しており、1学期に第1回目を実施しました。講師の方の話に吸い込まれるように夢中になって聞く子どもたちの姿に、私たち教師だけでは教えられない学びの大切さを感じたところです。海外での経験や人生の生き方、考え方に子どもたちも私もあっと驚かされました。このような学びが、子どもたちの考え方を広げ、「これならできるかも。」「こんなことがやってみたい。」という気持ちを引き出し、日々の学びの質を高め、将来に向けて1日1日をより豊かにしてくれることにつながると考えています。



【押川和貴先生】

## ～キャリア教育実践交流会～

次回は、11月に行う予定です。よのなか通信11月号でご案内します。

## 延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0053 宮崎県延岡市幸町3丁目101番地延岡駅西口街区ビル3階 延岡商工会議所内  
電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682 <http://nobeoka-career.jp/>

水永正憲 ☎ 080-4002-8167 敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539 酒井康行 ☎ 090-2587-7837  
✉ mizmas228@gmail.com ✉ sate815@ma.wainet.ne.jp ✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp